

講義名	商品開発特別研究Ⅱ（火5・火6）		
科目区分	特別研究		
担当教員	清水 信年		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限/後期 火曜日 6時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	4
		備考	

主題と概要

魅力ある商品を生み出すためには、顧客についての深い洞察はもちろん、競合他社の戦略や技術力などの分析、政治経済や社会の動きの把握、チームメンバーとの協働など、多様な要素がかかっています。つまり、商品開発活動をテーマとした実習として取り組むことは、商学部で学ぶさまざまな分野の知識を動員することを意味します。学んだ知識を実践に生かすという意味での「実学」として、当科目は商品開発実習にチャレンジします。（具体的には、後期に開催される「神戸学生イノベーショングランプリ（1-1グランプリ）」に参加することを想定しています。）

到達目標

商品開発活動の実習を通じて、商学部で学ぶ知識を自分自身の思考の道具として使えるようにすること、また実践を通じて自分自身にとって必要な新たな学びについて気づくこと、を目指します。

提出課題

最終的に提案する商品企画の資料（期末レポートを含む）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

講義の各回で、商品企画を仕上げる作業に対する講評・解説を随時行います。

評価の基準

各講義回におけるグループワークへの参加貢献度（60%）
最終的に提案する商品企画の内容（40%）
期末試験は行いません。

履修にあたっての注意・助言他

* 通常の講義とは運営形態が大きく異なるので、初回講義時のガイダンスに必ず出席してください。
* 前期に開講している科目「商品開発特別研究Ⅰ」とは、別のテーマで商品企画に取り組んでいただきますので、Ⅰを履修した学生でもⅡを続けて履修することも可能です。またⅠを履修せずⅡのみ履修することも可能です。
* 前期に開講している科目「製品戦略論」、後期に開講している科目「マーケティング・プレゼンテーション論」も、可能な限り履修してください。
* 時間割の上では講義は週二回ですが、その他にもグループワークなどで活動時間が必要になってくることを理解しておいてください。

教科書	1からの商品企画	西川英彦・廣田章光編著	碩学舎	1800	978-4502693007
-----	----------	-------------	-----	------	----------------

プリント資料及び参考文献

適宜、配布します。

授業計画

- 1 探索的調査の実習①
- 2 探索的調査の実習②
- 3 探索的調査の実習③
- 4 コンセプトデザインの実習①
- 5 コンセプトデザインの実習②
- 6 コンセプトデザインの実習③
- 7 検証的調査の実習①
- 8 検証的調査の実習②
- 9 検証的調査の実習③
- 10 企画書作成の実習①
- 11 企画書作成の実習②
- 12 企画書作成の実習③
- 13 プレゼンテーション実習①
- 14 プレゼンテーション実習②
- 15 プレゼンテーション実習③

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

*各回の準備および作業継続：各4時間×15回=60時間

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

グループワークに対する教員からの質疑・コメントや、プレゼンテーション練習において双方向のコミュニケーションがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり（当科目には関連なし）。

備考